

どなたでもお使いいただけるギャラリーです。

日立市角記念市民ギャラリー Hitachi City Kado Memorial Citizens Gallery

角 記念市民ギャラリーとは？

「日立市角記念市民ギャラリー」は、日立市にゆかりの深い洋画家 角浩(かどひろし)氏の絵画作品を常設展示した市民ギャラリーです。ギャラリーには、カフェレストランも併設され、四季折々の表情を見せる平和通りの桜を臨みつつ、ゆったりとアートの世界に浸っていただける空間です。皆さんの、作品展示や発表の場としてご利用いただけます。



【利用期間】 火曜日から翌週日曜日までの原則6日間単位(最大12日間・月曜日休館日)
※最大日数を超えて使用したい場合は、文化・国際課までご相談ください。

【利用料金】 ・入場料を徴収しない場合 1日 5,240円
・入場料を徴収する場合 1日 7,860円
・営利宣伝等に使用する場合 1日 10,480円

【開館時間】 午前10時から午後6時まで

【休館日】 月曜日 12月29日～翌年1月3日

【入館料】 無料 【駐車場】 あり

【住所】 〒317-0072 日立市弁天町1-3-11 「市民会館入口」バス停前

【電話番号】 0294-26-0170

【問い合わせ先】 日立市生活環境部文化・国際課 〒317-8601 日立市助川町1-1-1
TEL: 0294-22-3111(内線535) FAX: 0294-24-5301
E-mail: kokubun@city.hitachi.lg.jp

洋画家 角 浩



洋画家・角 浩は、日立鉱山第4代所長を務めた角弥太郎の次男として、1909年(明治42)茨城県多賀郡日立村(現茨城県日立市)に生まれました。

1928年(昭和3)東京美術学校(後の東京藝術大学)西洋画科に入学し、在学中に独立美術協会展などに入選しました。卒業後は、1937年(昭和12)から1939年(昭和14)までフ

ランスに留学し、明るい色彩と軽快な筆致による油彩画をサロン・デュ・チュイルリーに招待出品したほか、サロン・ドートンヌなどに入選し、若くして画家としての才能を発揮しました。

戦後は新制作協会会員となり、透明感のある独特の技法によって西洋騎士道や世界各国のモチーフを描き幻想的な作品を制作したほか、レコードジャケットのデザインや舞台美術の仕事を手がけました。また、諸国を旅しながら海外で個展を数多く開催し、1994年(平成6)に84歳で亡くなるまで精力的に作品を発表し続け、国内外で高い評価を受けました。

当ギャラリーは、2010年(平成22)年に遺族から150点に及ぶ絵画作品の寄贈を受けたことを記念して、同年10月に開館しました。



街角でアートに出会う。

角 記念市民ギャラリー